

研究タイトル:

地方における出版文化の調査研究



氏名:	辻 秀平 / TSUJI Shuhei	E-mail:	s-tsuji@yonago-k.ac.jp
職名:	助教	学位:	博士(文学)

所属学会・協会:	日本近代文学会, 日本近代文学会関西支部, 日本出版学会, 昭和文学会, 解釈学会, 全国大学国語国文学会, 川端康成学会, 阪神近代文学会, 関西大学国文学会, 芸術至上主義文芸学会
----------	--

キーワード:	日本文学, 日本文化, 出版研究, 地方(地域)文化研究, 書誌学, 国語教育
--------	---

技術相談 提供可能技術:	・日本文化・文学。特に明治時代以降(近現代)の日本文化や文学に関すること。 ・書籍や新聞、雑誌メディアといった出版物や、出版統計、出版文化の調査研究に関すること。 ・書籍、定期刊行物、地域資料(特に近現代)の調査・利活用法に関すること。 ・国語教育(日本語教育)に関すること。
-----------------	---

研究内容: 地方における出版文化の調査研究

研究概要

主に明治時代以降の日本における文化や文学を研究しています。特に、1930～1970年代の日本における文学や出版の動向に関心を寄せており、最近は戦中・戦後の日本の地方における出版・雑誌メディアの動向に注目しています。

地方における出版文化研究(1):「鎌倉文庫」を中心とする、神奈川県湘南地域における営為

終戦後の GHQ による占領から高度経済成長期にかけての日本では、雑誌メディアが大きな社会的影響力を有していました。東京や大阪のような大都市圏だけでなく、地方においても有志や地元メディアなどが様々な雑誌を発刊し、独自色ある地域文化を創出していきました。近年、こうした地方雑誌の再評価や研究の動きが盛んになっていますが、私はその中でも、神奈川・鎌倉での文化人たちの活動に由来する出版社「鎌倉文庫」(活動期間:1945～1949)に注目しています。地方の貸本店から、全国規模の出版社へと発展した「鎌倉文庫」は、地方における文化的営為の可能性と限界を考える上でも様々な示唆に富む存在です。現在はその研究環境の整備のため、資料の収集や調査を行っています。

地方における出版文化研究(2):昭和戦前期の鳥取県西伯地域における営為

昭和戦前期の米子を中心とする鳥取県西伯地域では、小説や詩、評論に関する様々な同人雑誌が刊行されていました。こうした雑誌を通して地域の中で培われた芸術文化や、その同時代性についての調査研究も行っています。

担当科目	現代文Ⅰ(本科1年), 文学Ⅰ, 文学Ⅲ, 実用日本語(いずれも本科4年)
過去の実績	・地方文化人の共同体の生成と発展に関する研究:昭和期の鎌倉文士を端緒として 日本学術振興会 科学研究費助成事業 若手研究(2026～2029年度) JP26K15937 研究代表者 ・「鎌倉文庫」に関する基礎的研究:出版活動を巡る人的ネットワークの解明を中心に 日本学術振興会 科学研究費助成事業 研究活動スタート支援(2024～2025年度) JP24K22520 研究代表者
近年の業績 (研究・教育論文、特許含む)	【主な書籍等出版物(項目分担執筆)】 ・仁平政人, 原善(共編著)『〈転生〉する川端康成Ⅱ:アダプテーションの諸相』、文学通信、pp.258-261、pp.279-280、pp.314-319、pp.332-333、pp.343-344、2024年4月 【主な論文】 ・辻秀平「川端康成『再婚者』論:不在の存在を語ること」、川端文学への視界、No.40、pp.104-122、2025年6月 ・辻秀平「川端康成における死者語りの問題系:戦争前後の追悼関係テキストを視座として」、国文学、第108号、pp.85-106、2024年3月 【主な文献索引・雑誌解説】 ・辻秀平「鎌倉文庫刊『社会』総目次・執筆者名索引(1946年9月・第1巻第1号～1949年5月・第4巻第5号)」、千里山文学論集、第103号、pp.267-307、2023年3月